

## 2026 年度第 1 回大府市環境審議会 議事録

日時：2026 年 7 月 13 日（月）

午前 10 時から

会場：大府市役所 203 会議室

<出席者>

（委員）13 名（敬称略）

千頭聡会長、西村和子副会長、村瀬由理、澤田和孝、加古光春、倉元須麻子、小久保友博、小椋和美、坂野好子、深谷多恵子、近藤隆幸、相木徹、長畠典子

（事務局）6 名

中村部長、太田課長、植木係長、田本係長、村下、川村

### 1. 開会

・中村部長より挨拶

### 2. 会長及び副会長の選任

・会長に千頭委員、副会長に西村委員を選任

### 3. 議題

#### （1）2025 年度一般廃棄物処理実績について【資料 1】

【事務局】資料に基づいて説明

【委員】実験動物の屍体の発生場所はどこか。

【事務局】市内の大学で少量ながら実績があり、専門業者を通じて搬入がある。

【委員】燃やすしかないごみが毎年減少している要因はなにか。

【事務局】SNS 等様々な媒体を使用した情報発信やリユースイベントの開催、コンポスト講座の継続が要因と考えている。

【委員】組成調査は実施しているか。

【事務局】毎年燃やすしかないごみと燃やせないごみの両方について実施している。

【委員】処理困難物とはなにか。

【事務局】不法投棄されたクリーンセンターで処理できない FRP 製の舟や車両のタイヤ等が該当する。

【委員】新聞社の新聞回収や無人の資源回収場所の回収量も含まれているのか。

【事務局】新聞社の実績については、2 ページの新聞自主回収に記載しているが、国に報告する際の民間の回収量は含めない算定方針に従い、各資源回収量の中に無人の回収場所の実績は含めていない。

【委員】深夜の資源の持ち去り等があり、回収量が減った結果、自治区への報償金が減少する問題が発生している。ダストボックスを設置すれば防げそうだが、市から支給等ないか。

【事務局】回収場所の広さはごみ置き場毎に差があり、ダストボックスが置けないところもあるため、支給等はしていない。ネットのみ支給している。

【委員】黄色のネットにしたところカラスの被害が軽減された経験があるが、市の配布するものが青色なのはなぜか。黄色にしてはどうか。

【事務局】特別な顔料を使ってカラスの被害を抑える実験をしたのが偶々黄色のフィルムだったそうで単純に黄色なだけでは意味がないと聞いている。また、ごみ袋が黄色のため、ネットも黄色だと回収に見づらいと回収業者からの声もあり、青色にしている。

【委員】持ち去りの防止については、地域で協力して出す時間の制限や当番制を組むなども効果的だと思う。

【委員】持ち去りについて条例はないか。

【事務局】大府市廃棄物の処理及び清掃に関する条例において資源の持ち去りは条例で禁止している。通報があった際には、東海警察署とも連携して対応している。

## （２）環境マネジメントシステムに関する取組について【資料２】

【事務局】資料に基づいて説明

【委員】Ｊクレジットの創出は特に考えていないか。

【事務局】蓄電池やエネファームへの補助金実績から排出量の削減分をＪクレジット化する事業を東邦ガス株式会社と連携して実施している。

【委員】田んぼの中干しによるＪクレジットの創出などもやってみてはどうか。

【事務局】農家等の外部協力が必要不可欠なため、今後調査研究していきたい。

## （４）美しいまちづくり表彰について【資料３】

【事務局】資料に基づいて説明

【委員】自治区により推薦状況に違いがあるのはなぜか。

【事務局】要件に該当しなかった場合や推薦があっても辞退する方がいるため、推薦状況に違いが生じている。

【会長】表彰内容について承認でよろしいか。

【委員】異議なし

## ３．その他

### （１）二ツ池セレクトナのリニューアルオープンについて

【事務局】自然体験学習施設である本施設について、昨今の環境情勢を踏まえて、サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラルの要素を取り入れた環境を体験する施設として展示改修を行い、11/15にリニューアルオープン予定である。

### （２）路上禁煙地区の拡大について

【委員】禁煙地区は見回りの方がいるのか。

【事務局】職員２名が定期的に巡回をしている。

### （３）次回審議会開催日程について

【事務局】第２回環境審議会は2027年３月10日（水）14時から開催予定